

9月5日

テーマ：「四つのたね」

聖書箇所：マタイの福音書13章3節～9節、19節～23節

◆今日のみことば

ところが、良い地に蒔かれるとは、みことばを聞いてそれを悟る人のことで、その人はほんとうに実を結び、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍の実を結びます。

マタイの福音書13章23節

◆メッセージ



ある日、イエスさまが、こんなお話をされました。

「たねをまいているおじさんがいました。一粒のたねが、ぼとんと道ばたに落ちました。するとすぐに鳥が来て、食べてしまいました。別のたねは土のうすい石のようなところに落ちました。そのたねは、すぐに芽を出しましたが、日が上ると、焼けて、かれてしまいました。

別のたねは、いばらがたくさん生えている中に落ちました。芽は出ましたが、いばらも大きくなって、ふさいでしまったので、実はありませんでした。もう一つのたねは、良い土に落ちたので、たくさんの実がなりました。」

イエスさまのお弟子さんたちが、このお話はどんな意味ですかとお尋ねすると、イエスさまはこんなふうに説明してくださいました。「このお話で、たねというのは、聖書のみことばのことです。たねが落ちたところは私たちの心です。道ばたに落ちるといのは、みことばを聞いても、そんなのうそだと、信じないでいることで、そうしていると、悪魔がイエスさまを信じないようにさせてしまうのです。石のようなところに落ちるといのは、みことばを聞いたときは喜んで信じるのですが、深く信じていないので、つらいことや苦しいことが起きると、イエスさまを信じなくなってしまうことです。いばらの中に落ちるといのは、みことばを信じてはいても、みことばを読むよりもっと楽しいことがあると、それが気になってしまって、イエスさまを信じなくなることです。良い地にまかれたたねは、たくさんの実を实らせます。」

みなさんはどうですか？どんな心でみことばを聞いていますか。みことばを聞いても、知らんぷりで行かないと、悪魔にねらわれてしまいます。気に入ったことには従うけれど、ちょっと苦しいことや都合の悪いことには、耳をふさいでしまうと、根を張ることができません。みことばに従うよりも、自分の好きなことが先になっていると、邪魔ないばらが心をしめてしまいます。お父さん、お母さん、教会の先生からみことばをたくさん聞いて、すなおな心でそのとおりに信じて、イエスさまに喜んでいただける人になりましょう。



◆お祈り

イエスさまのことばを聞いて、心から信じるように信仰を与えてください。

(愛のキリスト教会牧師 影山範文)